

株式会社田中組

所在地 札幌市中央区北6条西17丁目17番地の5

従業員数 166人

事業内容 総合建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

平均年齢の上昇に伴い、当社の基本方針である「職員が気持ちよく仕事ができる職場」という指針を健康面からもアプローチしようと考え、健康経営に取り組みました。取り組み開始から4年が経過し、人間ドック受診率が年々増加してきていることから、健康管理に対する意識の向上を実感しています。

本年は、再検査・治療に対する勧奨方法の見直しや予約体制の整備を行い、健診の受けっぱなしを防止し再検査受診率の増加を目指しています。

また、健康管理や食生活の改善に関する情報発信を積極的に行い、職員の健康意識向上に励んでいこうと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康維持・増進の意識を高めてもらうために、本社各フロアに血圧計の設置、自動販売機にトクホの健康飲料を追加、kencomで開催している歩活への参加促進を実施しました。また、年に一度自社職員のほか協力会社の方々を集めて行っている安全衛生大会では、医師に人間ドックの重要性や、疾病リスク低減のための生活習慣改善など、健康管理についての講話を行って頂いています。

その結果、人間ドック受診率が上昇しただけでなく、オプション検査を追加する社員が増加しました。

今後は、生活習慣病についての情報発信の強化や、人間ドック・再検査受診費用の補助を検討し、受診環境の整備に努めていきたいと思っています。



各フロアに血圧計を設置



毎年行われる安全衛生大会

ホームページ

<http://www.tanakagumi.co.jp/company/csr/health/>

阿部建設株式会社

所在地 宮城県仙台市青葉区中江2-23-20

従業員数 68人

事業内容 総合建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は建設業の平均で見ても有所見率が高く、喫煙率も高い事から、健康診断で「要再検査」等の結果をいただく人が非常に多く見受けられました。

そのため、事後指導や個別相談等も行いましたが、社員の高齢化も相まって中々効果が見えにくい状況でした。

「健康経営」が世間で注目を集め、社内でもその話が出るようになっていたこともあり、「健康経営」が会社として社員のメンタルを含めた健康を守る一助になればと考え、取り組むことを決めました。

特に力を入れた取り組みとその効果

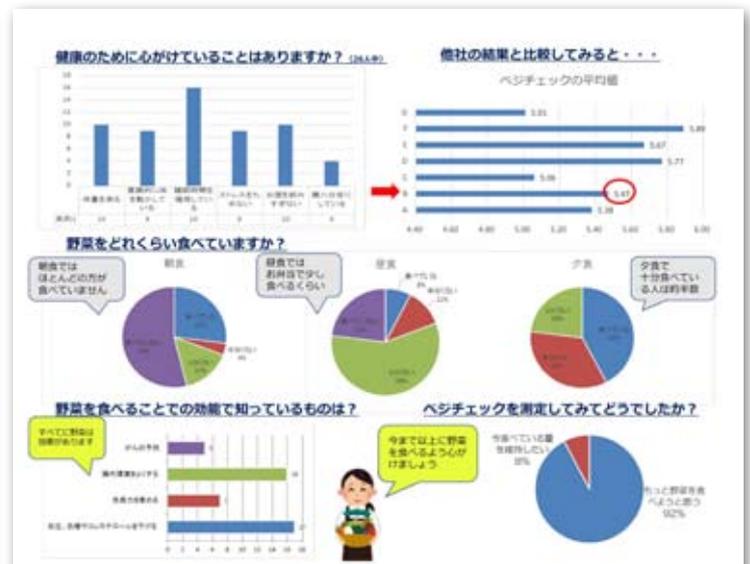
土健保 仙台健康支援室に、有所見者が多い「中性脂肪と高血圧」をテーマに、対象社員を集めて食生活と関連付けた講義をしていただきました。

また、カゴメ㈱「ベジチェック」で野菜摂取量の測定をしていただいたところ、ほとんどの社員が野菜不足の結果でしたが、社内では野菜摂取について話題となり、食事を見直すきっかけとなっています。健康づくりへの関心の高まりを感じたので、このチャンスを逃さないよう、早速、健康診断等の全社員が集まる機会に再度測定したい、と要望を出させていただいております。

社員の食生活の改善や健康増進のため、こうした活動を今後も続けていきたいと考えております。



ベジチェックで社員の野菜摂取状況を可視化



ベジチェックとアンケートで食生活を分析

株式会社タカヤ

所在地 岩手県盛岡市本宮五丁目5番5号

従業員数 235人

事業内容 総合建設業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は2020年に創業90年の節目を迎えました。

健康づくりに力を入れるきっかけは、健康を害し、仕事を離れざるを得なくなった従業員がいたことです。

健康経営は、経営理念に掲げている『社員の幸せを追求する』にも通ずるものがあり、“従業員が健康であることが社員満足につながる”という考えのもと、会社をあげて、健康診断項目の充実や社内禁煙などに取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

30歳以上の社員を対象に、検査項目の多い人間ドック受診を義務付け、費用を会社で負担しています。さらに健康診断・人間ドック受診時は、1日の特別休暇を取得できます。

2019年から「毎日のお昼にプラス1品」をコンセプトに、本社の昼食スペースに野菜サラダやスムージーなどを低価格で提供する「オフィスで野菜」というサービスを導入しました。コンビニやスーパーの弁当ばかりで偏りがちな食生活に野菜を1品プラスすることで、従業員の食生活改善に取り組んでいます。

また、禁煙の推進も行っており、各部署での聞き取り結果等から確認し、非喫煙者には年間6万円の禁煙手当を支給しています。給与明細にも禁煙手当の欄を設け、家族からも後押ししてもらえるようにしました。その結果、全社の喫煙率は20%未満という低い水準を維持しています。

さらに月に1度スポーツデーを設け、施設使用料は会社が負担し、社員が気軽にスポーツをする機会を提供するほか、マラソン大会参加などの活動も支援しています。

最近では、健康づくりをわかりやすく解説した雑誌を会社で定期購読し、社員向けに配信しています。



当社も協賛「いわて盛岡シティマラソン」



オフィスで野菜

ホームページ

<https://takaya-net.jp/>

中城建設株式会社

所在地 宮城県仙台市宮城野区幸町2丁目23-1

従業員数 43人

事業内容 総合建設業、不動産賃貸管理事業、不動産特定共同事業、保育園事業 (令和4年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

我が社は以前より健康づくりに力を入れておりましたが、「健康経営」に取り組むこととなったきっかけは、「会社にとって社員は大切な人財であるため、社員がいつまでも健康でいきいきと働ける職場環境を整えることが大事である」と考えたからです。

「健康経営」は人材定着率の向上や医療費の抑制につながり、社員の健康状態やメンタルヘルスの改善を行うことは、業務のパフォーマンスアップにもつながっています。

特に、働きやすい職場づくりの取り組みとして、職場のコミュニケーション促進に力を入れており、年齢を超えて良い関係を築けるようサポートしています。

特に力を入れた取り組みとその効果

社員同士のコミュニケーションを図るため、今年から、kencom(ケンコム)で開催している『みんなで歩活(あるかつ)』に参加しています。2022春は初参加ということで老若男女の選抜チームでチャレンジしましたが、励まし合ったり、凄い歩数結果を出す人がいて話題になったりと普段接することが少なかった人同士で話す機会が増えたり、団結力が芽生え、意識して歩こうという気持ちが出てきてとても良かったです。次回はもっと多くの社員が参加してくれるよう計画を練っています。また、健康的な食事をとるための経済的補助として、チケットレストランという食事補助専用の電子マネーを導入しました。忙しいと抜きがちな朝食として、またはいつもの昼食にサラダを追加してなど、社員の健康を支えるための一助となっています。



歩活しながらコミュニケーション



チケットレストランで野菜たっぷりランチ

ホームページ

<https://nakashiro.co.jp/>

<https://www.facebook.com/nakashiroconstruction/>

株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

所在地 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-65

従業員数 570人

事業内容 高速道路の保全点検業務

(令和4年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

平成27年6月に医務室を設置し、常勤の看護師を配置して「社員の健康面(心身共に)」に留意していくこととしました。定期健康診断も受診義務に留まらせることなく、「要再検査」など指摘があった者に対して医務室から声掛け・健康相談等を実施し、社員自ら健康面に目を向けるよう働きかけてきました。

平成28年からは「ヘルスアップチャレンジ」を毎年宣言していましたが、仙台健康支援室から、社員へ向けた医務室の活動は「健康経営優良法人」の認定条件を十分に満たしていると申請への助言をもらい、初申請で「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)」の認定を受け、今年も連続での認定を受けることができました。会社全体で取り組む姿勢を見せることにより、社員への意識づけと、企業としての取組みを外部にも理解して貰えたらと思い、活動を続けています。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健康診断等は全社員受診していますが、受診するだけで終わらせず、結果をもとに、個別に文書での再検査の受診勧奨と再検査受診費用の一部助成を行う体制を作り、結果報告書の提出を義務化しています。

また、看護師が全事業所を巡回し、個別面談による保健指導や再検査受診勧奨、メンタル相談などを行っています。

中でも生活習慣病に関連する検査項目の有所見者率と生活習慣病罹患率が高いため、毎年全事業所にて行っている健康講話のテーマを「生活習慣病」とし、講話の後には野菜摂取量を数値化できる「ベジチェック測定会」も同時に開催しました。実施後のアンケートでは、野菜摂取意識の高まり度87%、健康意識の高まり度95%の回答が得られ、健康無関心層を含む多くの社員に気づきを促し、健康課題を自分ごととして捉えるきっかけづくりとすることができました。

更なる健康意識の定着と行動変容を目的として、「ベジチェック測定会」の継続、体内の糖化度を測る「AGEs(エージーイー)測定会」も実施し、楽しみながら各自の生活改善意識が高まるような取り組みを進めていきます。



健康講話：自分のからだに目を向けてみよう



野菜摂取量を可視化(ベジチェック測定会)

ホームページ

<https://www.e-nexco-engito.co.jp/mission/>

株式会社橋本店

所在地 宮城県仙台市青葉区立町27番21号

従業員数 189人

事業内容 総合建設業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営に取り組む会社の増加を受けて始めた健康経営優良法人の申請でしたが、実際に申請をしてみると、今まで会社で取り組んでいた事が健康経営の項目に該当しており、特別何かを始めたというものはほとんどありませんでした。

普段から“健康経営”として意識をしていなくても、社員の事を考えて取り組んでいたら、結果的に“健康経営”という潮流に乗っていたという印象です。

今後は、社員一人一人の更なる健康意識向上を目指した取り組みをしていく事により、会社の健康状態も上げて行き、社員も会社も健康で優良になれるように頑張っていきたいです。

特に力を入れた取り組みとその効果

新型コロナウイルス感染症の流行前から、感染症対策に力を入れており、インフルエンザ予防接種の集団接種を会社負担で実施しています。また、新型コロナウイルス感染症が流行してからは、より一層の感染症対策を心掛け、除菌グッズや飛沫を防ぐパネル等を各現場に取り入れたり、社員にマスク手当を支給したりしています。

近年の取り組みとしては、仙台健康支援室の協力のもと、若手社員を中心とした保健指導として、レンジで簡単調理を学んだり、野菜不足チェックができるベジチェックの測定を行いました。今後は食生活の面からも社員の健康意識向上を図っていきたいです。



インフルエンザ予防接種



ベジチェックで社員の野菜不足が判明

ホームページ

<https://www.hashimototen.co.jp/>

鹿島建設株式会社

所在地 東京都港区元赤坂 1-3-1

従業員数 8,080人

事業内容 建設事業、開発事業、設計・エンジニアリング事業ほか

(令和4年3月31日現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2006年に着任した本社の現産業医は、健康管理センターにおける医療活動の充実を図るとともに、全国に散らばる支店や工事事務所に頻繁に出向き、全社的な健康管理活動の推進に注力してきた。その過程で、事業所が全国に散在し、多数の工事現場を抱えるという当社の特性から、社員全体の健康管理を大きく前進させるには、従来の方法だけでは限界があることを痛感していた。このような状況下、「従業員の健康保持・増進のための取組みは将来的に収益性等を高める投資である」とする健康経営の概念を取り入れることで、全社が一丸となって社員の健康の保持・増進を一層進めることができるものと確信し、健康経営の必要性を広く説くようになった。このような経緯により、2015年より本格的に健康経営に取り組むようになり、その後、グループ企業やサプライチェーンに対しても、健康経営に関する啓蒙活動を広く展開している。

特に力を入れた取組みとその効果

コロナ禍により、これまでとは異なる働き方や暮らし方を余儀なくされ、在宅勤務やテレワークが増加している中、運動不足や食生活の乱れなどから体重が増加してしまう社員が増えている。そこで、土建保制作の動画「太らない! ちょい足し生活 (食事療法について)」を2021年5月から、同じく「見直そう! 野菜のチカラ」を2022年6月からイントラネットで配信し、全社員に周知のうえ、いつでも社給パソコンで視聴できるようにした。これらの動画は、土建保の管理栄養士の方が食生活の改善についてとても分かりやすく説明して下さっており、視聴者の中で好評を博している (視聴回数は2022年7月時点で前者: 約1,300回、後者: 約300回)。食事療法はある程度の時間を経て効果が現れてくるものなので、今後、着実に改善が進んでいくことを楽しみにしている。



健康管理センターのスタッフ



動画視聴の様子

ホームページ

<https://www.kajima.co.jp/sustainability/society/health/index-j.html>

一般財団法人土木建築厚生会

所在地 東京都中野区中野2-12-11 フランボワーズガーデン中野2階 従業員数 7人

事業内容 土木建築業に従事する方々の福利厚生事業

(令和4年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当会は、会員（土木建築業に従事する者及びその家族等）の健康の維持・福祉の向上を目的としている一般財団法人です。

健康経営は、当会の事業目的にもマッチしていて、かねてより役職員の健康管理・健康増進を進めてきましたが、本格的に取り組むきっかけになったのは、職員の高齢化と「健康経営優良法人2017」認定制度が開始されたことによるものです。

高齢化は、健康リスクも高まりますので、職員の健康意識を高めることで、自主的に生活習慣や食生活等、健康管理に取り組んでもらえるよう健康づくりを推進しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

新型コロナウイルス感染症については、執務中のマスク着用、手指消毒装置の設置・使用、デスク間にパーテーションを設置するなどの感染対策に加え、新たにCO₂濃度測定器を設置するなど引き続き感染防止の徹底に努めております。

また、非接触型体温計で随時測定、午後3時にはラジオ体操を行うなど日々の健康管理にも留意しています。

職員健康診断の結果、「要再検査」率が高いことから、生活習慣の中でも食生活に関する知識向上を目指すことを目的として、組合管理栄養士作成の健康講話（DVD）の提供を受け、各自で視聴しました。



机にはパーテーションを設置しています



毎日ラジオ体操を実施しています

ホームページ

<http://www.dobokukenchiku-kouseikai.or.jp/others/torikumi.html>

丸善土木株式会社

所在地 長野県松本市南原三丁目20番4号

従業員数 20人

事業内容 土木・舗装工事

(令和4年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営への取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の有所見率の高さでした。疾病の改善や健康保持について、全国土木建築国民健康保険組合の東京健康支援室に相談させていただき、健診内容やオプションをどうグレードアップさせていくかを議論してきました。その中で健康経営としての取り組みや健康経営優良法人認定制度についても情報提供があり、働きがいのある職場づくりと職場だけでなく家族の健康にも力をいれるため毎年様々な提案をいただきながら、可能な限り実践しております。また、2021年度からは『こころの健康づくり』にも重点をおき、ストレスチェックを実施しています。「からだ」と「こころ」の両方の健康を保持できるよう活動していきたいと思っております。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ① 定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員は人間ドックに変更した。(各種補助制度の説明を行い「女性特有の健診等」オプション追加も可能)
- ② 運動の推進として2020年度にはバランスボールを全社員に配布、kencomで年2回開催されている「歩活」への参加
- ③ 感染症対策として2021年度には「マスク・アルコール消毒液」の配布や各工事現場へのアルコール消毒液の設置を行った。
- ④ 社内インターネットを使用し、どけんぼ保健師・管理栄養士作成の動画配信(※)や東京健康支援室発行の「けんこう通信」の配信
※2022年度はヘルスアップチャレンジ助成金を活用し、教材として「塩分計」を購入・全員に配布。生活習慣病についての講話内で塩分や塩分計に関する教育を受けた。
- ⑤ ストレスチェックの実施
- ⑥ 禁煙対策として屋外喫煙所の設置



配布した塩分計とどけんぼ保健師による講話資料



社内インターネット掲示板で健康情報を配信

ホームページ

<https://www.maruzendoboku.co.jp/pages/38/>

坂川建設株式会社

所在地 福井県福井市宝永3丁目3番24号

従業員数 92人

事業内容 総合建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は総合建設業を営んでおり2022年で創業112年を迎えます。近年の公共工事の入札制度により実績のある技術者を工事に専任させる事を求められ、当社は定年60歳から62歳、継続雇用は65歳から67歳に延長をするようになりました。これによりいまままで退職していたはずの60歳以上の社員で病気を患う者が発生してきました。

そこで社員の健康問題をできるだけ発生させないために、2016年度より従来の無事故運動とは別に、健康経営、メンタルヘルス対策などにも取り組むようになりました。2016年に就任した現社長が、以前から健康経営に興味を持っていたところ、医療保険者である全国土木建築国民健康保険組合の協力を得て健康宣言事業を開始しました。

特に力を入れた取り組みとその効果

ISOの経営方針に、「健康と安全はすべてに優先する」と明記することにより、健康に関する活動をシステムの一部とし、経営者や従業員が取り組みやすい環境づくりを行いました。

【健康維持・治療の強化】①春季に定期健康診断、秋季に40歳以上の社員に対し1日人間ドックの受診②年2回行われる社員勉強会で食生活等の改善を教育、毎月メールで食事改善方法等を配信③各事業所(現場)に設置する自動販売機は、低糖等の健康に考慮した飲料水を設置し、糖分等のカロリー等を表示したポスターを掲示

【健康増進】①全社員に万歩計を支給し、毎日8,000歩を18日間以上、合計180,000歩以上歩いた場合、もしくはスポーツジム毎週3回以上利用した者に対し毎月3,000円を支給②上記の運動を3ヶ月続けた者に対し、健康食材を支給③健康活動を行った結果、少しずつ変化が見えてきました。

- 定期健康診断、メンタルヘルスチェック、40歳以上の人間ドックの受診率100%
- 年2回行う病院での診断により病気が早期発見され、1週間程度の休業で済んでいます。
- 健康診断の平成28年と令和3年を比較した結果、胸部X線 -3.9%、糖代謝 -5.9%の改善がみられました。



食育教育で食食をしながらの講習



自動販売機に
カロリー表示の
ポスターを掲示

ホームページ

<http://sakagawa-kk.jp/>

株式会社鈴木軌道

所在地 愛知県大府市北崎町井田 252-6

従業員数 46人

事業内容 鉄道工事請負業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社は東海道新幹線の線路を検査し、メンテナンスする会社です。終電から始発の夜間に作業をするため、昼夜逆転の生活となります。雨の日も風の日も365日欠かさず屋外で業務を行わなければならないため、肉体的な負担も大きいのが実情です。

10年ほど前から、建設業への就職を希望する人の割合が急激に減少し、人材の確保が難しくなるとともに、教育体制が時代錯誤となり、人材が定着しない時期が続きました。線路を直すためには経験が重要となり、一人前になるまでに10年～20年を要します。技術が継承されないままでは新幹線の安全を守れなくなる、という危機感がありました。人が定着する会社を目指すために何が必要かを話し合い、「社員が働く環境を整える」「新幹線の安全を守る為に、業務上不規則な生活になりがちな社員の健康を守る」ことが大切だと考えました。

健康経営が認知される以前より取り組みを始めており、その成果が認められ、健康経営優良法人に5年連続で認定されております。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社の健康診断は年2回。受診率は100%です。貴組合のご協力があり検診車に来ていただいています。通常の検査項目には含まれていない一酸化炭素濃度、血管年齢、体脂肪の測定。また、「ベジチェック」と呼ばれる野菜摂取量を数値で示す機械をレンタルし、禁煙や肥満、食生活への意識付けを行っています。個人ごとに健康診断の結果に応じた健康レシピを配布。寮生活を送る新入社員にも、偏った食事にならないよう栄養士に指導をお願いし、食生活の改善を促しています。

こころの健康づくりの面では、50名以下の企業には義務付けられていないストレスチェックを実施しています。年1回、個人面談を行い働き方に不満はないか、会社への要望はないかを聞く機会を設け、できる限り対応するようにしています。

上記の取組みに共通することは「見える化」です。できる限り数字による「見える化」をすることで、自身の健康に正面から向き合ってもらおうよう促しています。

別の「見える化」の一例として、会社に設置してある自販機に、飲料別糖分含有量を示したポスターを掲示しています。皆、糖分の多さに驚き、飲み物の売れ行きも大きく変わりました。



健康診断時の
ベジチェックの様子



飲料別糖分含有量
ポスター

ホームページ

<https://suzukikidou.business.site/>

ユーシン建設株式会社

所在地 富山県砺波市三郎丸56番地

従業員数 15人

事業内容 舗装工事

(令和4年7月末現在)
役員含む

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設業界は高齢化が進んでいます。当社でも例外ではありません。年をとっても元気で働くために全員が健康であればと考え、平成12年から月2回の地域貢献として清掃ボランティア道路清掃を実施しています。またこれを活用して2kmの歩活をしています。(冬期間は雪の為中止)

この活動が、従業員の健康づくりを意識するきっかけとなりました。歩活は現在も続き、21年目に入ります。仕事でも、よく歩く事から「毎日の歩数の見える化」を考え、平成29年10月から歩数競争を始めました(現在は自粛中)でも、各自携帯のアプリ(kencom等)に入れたり、会社の休日には遠出をして歩いたり、近隣の山を歩いたり、夕方自宅周辺を散歩したりと、歩活に対して従業員にも浸透してきています(個々実施)。この運動が、健康支援室の方から健康経営の取り組みに該当すると聞き、健康宣言事業に参加したのがきっかけです。また、富山県内では「健康経営優良法人2017」の初回認定法人がなかったため、「まず自分たちが取り組もう」と考えました。

特に力を入れた取り組みとその効果

工程会議という全従業員が集まる会議があります。その会議の後に開催しているおやつタイムで、健康な食生活に関して学んでいます。塩分・糖質が健康に与える悪影響やお茶の健康成分についての勉強会、ヘルシー食材の提供などを実施。それを機に自動販売機のメニューも無糖コーヒー、低脂肪・低糖・水・お茶をメインにと入れ替えを自動販売機設置会社に依頼して改善を進めています。現場の飲み物も会社で準備し、持参する事にしています。また、健康支援室の講習会も行い、その後、個人指導を実施し、個人の食生活・健康管理についても指導して頂いています。(食生活の改善・講習会)

従業員が互いに助け合う事により、連続休暇を取得しやすい環境づくりに心掛けています。親の高齢化等により、病院への送迎に利用しやすいように時間単位の有給休暇取得も多く、健康を考える事により、病気で休む社員も少なくなり、有給休暇は自分の余暇或いは家族とのコミュニケーションに取得する方が多く、前年度取得を見ると7割の方が、目標に対して100%近く取得しています。残業の多い建設業ですが、年々減少し前年度は月平均所定外労働時間3.36時間となっています。また、令和4年1月から、完全週休2日制を導入しています。(働き方改革の取り組み)



月2回の清掃ボランティア活動です。



健康支援室の方の講演及び個人指導

ホームページ

<http://www.yushin-kensetsu.co.jp/report/>

蜂谷工業株式会社

所在地 岡山県岡山市北区鹿田町一丁目3番16号

従業員数 132人

事業内容 総合建設業（建築、土木、水処理プラント）

（令和3年8月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2016年にどけんぼの保健師さんから「ヘルスアップチャレンジに参加してみませんか」とお話しをいただいたのがきっかけです。組合のヘルスアップチャレンジへの参加が健康経営優良法人認定制度への申請の登竜門となりました。以降、毎年色々な取り組みを組合の方から提案をいただいております。可能な限り社員の健康管理に活かす取り組みを実践しています。例えば、「歩活(あるかつ)への参加」や「食育セミナー」、「体力測定会」などです。

健康経営優良法人認定の新聞報道や名刺へのロゴマークを見たお客様や協力会社、学生の方々から、社員の健康管理に力を入れている会社だと良い印象を持っていただいております。

社員からは「こんな取り組みをして欲しい」「他社さんはこんな事をしている」というアイデアや意見が活発に出るようになっており、今まで以上に健康管理の大切さが社内に定着してきたと感じています。

毎年行っている社内満足度調査の項目「会社が健康や安全に配慮している」について2020年は73%（2016年は49%）の社員が「そう思う」を選択しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病健診の実施100%は20年以上継続しており、その再検査率は2020年98%でした。健康経営に取り組む以前の再検査率は30%程度でしたが、「早期発見、早期治療」をスローガンに掲げほぼ全員が再検査を実施しています。生活習慣病健診のオプションとして胃検診、腫瘍マーカー検査、女性特有のガン検診を全額会社負担で実施しています。約80%の社員がそれらを利用しています。

2015年より特定保健指導を就業時間内に本社および作業所で受ける事のできる体制が整っており、例年対象者全員が受診しています。

本社敷地内の自販機は、健康的な飲料（水・お茶・トクホ）の価格を下げる事で、健康意識が向上しています。

近所のクリニックと協力して「禁煙外来費用の全額補助」を4年前から行っており、毎年1人ずつですが禁煙に成功しています。またクリニックには「インフルエンザの社内接種」にも協力いただいております。毎年多くの社員が就業時間内に接種を行っています。

長時間労働対策として、ノー残業デーの導入やワークボードを利用した業務の見える化、全社員へ時間外労働の公表等を行っています。その結果、時間外労働は大幅に減り平均30時間を下回っています。



社内インフルエンザ予防接種



どけんぼの保健師さんと社員体力測定会

ホームページ

<http://www.hachiyakogyo.co.jp/company/health/>

有限会社山一工業

所在地 山回県岩国市竹安190

従業員数 7人

事業内容 建設業

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

年1回、健康診断は実施していますが、社員の突然の病気(生死にかかわる)に直面し、健康診断をしているから大丈夫だという考えを改めて、健康診断以外にも社員に対し、健康、病気に対する意識を持ってもらい、職場の雰囲気をよくするためにヘルスアップチャレンジを宣言し、健康保持に取り組むようになった。

また、インフルエンザ等の予防接種に関しても、当初は自己責任において接種させていたが、費用や休日などの理由から接種するしないという問題が発生し、会社内に感染が広がる危険もあり、会社側が予防接種を受ける体制作りに取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

全社員、毎年実施している健康診断の結果に基づいて、当人と会社が面談をし、出勤扱いとして早急に医療機関での再検査を行うよう指示している。再検査の結果を共有するため、会社への報告を義務付けている。

また、会社に保険組合の保健師、栄養士に訪問してもらい、社員の健康指導、食生活指導等をしていただき、意識向上に努めている。

喫煙対策に関しても、事務所・車内での禁煙、分煙に取り組んでいる。

このような健康づくりに取り組む姿勢を会社が見せることにより、社員も健康に対する意識向上が生まれ現場での事故発生も減少し、みんなが健康になり職場の雰囲気も良い状況になっている。



社員が血圧チェックをしている様子



保健師、管理栄養士による訪問指導

杉山建設株式会社

所在地 熊本市東区御領三丁目 14 番 64 号

従業員数 15 人

事業内容 建設業

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設現場では、喫煙しながらコミュニケーションをはかるのが一般的と捉えている方が多いためか喫煙率が高い。そのためか高血圧や脳梗塞などの生活習慣病にかかる従業員が多かった。

また、健康への意識が低く、定期的な健康診断の受診も従業員全員は難しい環境だったため、まず、健康診断の受診率を100パーセントにすることから始めたいと考えた。

従業員の健康維持に向けての意識改革・健康増進（定期健康診断の受診）、生活習慣病対策（禁煙・糖分の過剰摂取の抑制）、感染症対策に取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康増進を図るため、健康診断の受診率を100%にした。その健康診断結果に基づいてどけんぽの保健師・管理栄養士による保健指導も実施している。また、飲料に含まれる糖分の取り過ぎを防止するため、社内の自動販売機を撤去し、「水・お茶」などの糖分を含まない飲料を常備し、配布している。そのため、体重の大幅な増加は見られない。

禁煙対策のため屋内は禁煙とし、喫煙所を屋外に設置したところ、これまでは作業をしながら煙草を吸っていたが、作業を中断し喫煙をしなければならなくなったため、喫煙本数が減った人や禁煙に成功した人が数名みられている。

感染症対策のため、玄関、トイレなどにアルコールの設置、手洗いうがいを推奨するためのポスターを掲示した。昨年度及び今年度の感染症罹患者はいない。



社内冷蔵庫に常備している水・お茶



助成金を利用し購入した加湿空気清浄機

ホームページ

<https://ameblo.jp/sugiyama-corp/entry-12695433702.html>

株式会社ジオシステム

所在地 福岡市博多区竹下5-19-22

従業員数 6人

事業内容 建設業（地質調査業）

（令和4年4月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

社員の高齢化が進行するに従い、健康の大切さを意識するようになっていたところ、30～40代の中堅層の社員にも食生活の乱れや日常生活における運動不足などに起因する高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病がみられる者が増えてきました。

また、少数精鋭で業務を行う当社は、社員がひとりでも病気休業すると業務は滞ってしまいます。この業務遂行上の危機感からも健康の大切さを実感する契機となりました。

昨年からどけんぼの保健師・管理栄養士に訪問してもらい食生活の改善や運動が必要であるとの指導を受けています。

今後も健康経営を進める取り組みを実践していきたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

運動不足対策として社員には日常に運動を取り入れるよう促しています。ジムに行くなどスポーツに時間を割くことはなかなか困難なため、可能な範囲で自転車、徒歩などを織り交ぜた通勤を推奨しています。どけんぼのヘルスアップチャレンジ助成金で自転車を購入し、活用しています。

食生活については社内にポスターを掲示し、食事制限の意識付けをしています。社内では実際に病気になってしまった身近な人物の事例を情報交換する等、健康を意識してもらうような環境作りに取り組んでいます。



社内掲示ポスターによる健康周知活動



自転車、徒歩での移動、通勤を推奨

新日本熱学株式会社

所在地 福岡県北九州市戸畑区中原先の浜 46-80

従業員数 156人

事業内容 鉄鋼・化学・石油・ガスなど基幹産業向け各種設備の保全工事

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2019年、当社の産業医からの「健康経営優良法人認定」取得を目指してみてものご提案からスタートしました。それまでこの認定制度の存在を知りませんでしたので、まずは「どけんぼ福岡健康支援室」に相談し「健康経営」の概要及び申請方法につき説明をいただきました。その内容は、弊社の方針である「社員の健康が会社の業績に直結する」と一致することから本認定取得に向け具体的な活動を進めていくことといたしました。健康支援室からアドバイスをいただきながら、従来の活動では不足していた項目について対策を行った結果、初挑戦で「健康経営優良法人2021」の認定を取得出来ました。引き続きこの活動を発展させ「ブライツ500」を目指し、社員がますます健康で生き生きと働ける環境づくりを進めてまいります。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社は東京地区、大阪地区、九州地区で16事業所あり、定期健康診断の受診時期が異なっていたため、定期健康診断後の二次健診が年度内で受診完了が出来ていない、特殊健診対象者の管理や労働基準監督署への報告が会社として網羅的に把握できていない状況がありました。この状況を改善するため、これまで事業所単位でおこなってきた社員の健康管理を本社に集約し、同一年度内に全社員の定期健康診断及び二次健診の受診と産業医意見聴取を完了させました。また、特殊健診については異動しても対象者の健診対象項目や受診時期が一目でわかるカルテ様式の健診ファイルを作成しました。社員にはこの健康管理体制の目的や重要性についてあらゆる機会を通じて根気強く説明した結果、多くの社員からの理解を得られるようになり今では当たり前前の運用が定着しました。

また、どけんぼ作成の「事業所健康度分析資料」から生活習慣病対策として食生活の改善が必要と考え、管理栄養士による栄養講話や栄養指導を実施しています。これから継続していくことで社員の健康への意識が少しずつ向上していくことを期待しています。



産業医による生活習慣病対策の講話での1枚



管理栄養士による栄養講話での1枚

ホームページ

<http://www.netugaku.co.jp/news/content.php?id=337>

株式会社中野工務店

所在地 熊本県宇城市小川町新田1914-1

従業員数 47人

事業内容 建築工事業(型枠工事)

(令和3年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

どけんぼ福岡健康支援室との年一回の担当者打合せにおいて初めて健康経営の話聞き、どんなものだろうと思いつきながらまずはヘルスアップチャレンジに宣言しました。

健康支援室から助言をいただきながら実際に健康に関する様々なことを計画・実践してみて、事業主としては労災事故の防止に繋がり、従業員には安心して働ける職場に繋がっていくのだと実感しました。

また、健康経営優良法人認定取得を求人票にも載せています。いい人材を獲得できることを期待しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

定期健康診断は毎年実施率100%です。オプションの腫瘍マーカー検査費用も全額会社が負担し、身体の異常を早い段階で発見できるようにしました。健診結果から要再検査・要精密検査対象者には受診を勧め、受診を渋る社員には上司若しくは社長が受診勧奨を行い、受診結果も報告するよう指導しています。特定保健指導も会社として勧め、今のところ初回面談は100%実施できています。

感染症対策として新型コロナウイルス感染防止対策はもちろんのこと、インフルエンザの予防接種も勧め、費用は保険組合補助額の差額分を会社が負担しています。なお、家族分も組合への補助金申請のサポートを行っています。

また、現場に設置した自動販売機に健康的な飲料を勧めるポスターを掲示し、過剰に糖分を摂取しないよう取り組んでいます。

このような取り組みを続けることで従業員も健康の大切さを真剣に考えるようになりました。



熱中症対策として会社支給の空調服



自動販売機に健康的な飲料を勧めるポスター掲示